

# 地域公共交通計画における 施策展開について

## ①計画の進捗管理について

PDCAサイクルに基づく進行管理を行う上で、事業の実施や協議会の議事、予算要求などの作業スケジュールが確定していない

⇒協議会と関係機関の短期的、中長期的な進捗管理スケジュールを作成

## ②施策の検討・実施の進め方について

施策における事業の検討や実施の進め方が具体的に作成できていない

⇒施策ごとの検討・実施ステップを作成

## ③現況の把握について

上記②の施策ごとの検討・実施ステップを作成する上で、公共交通の現況として、路線バス等の運行状況や利用状況等の詳細の情報が不足していて、需要と供給の状況が把握できていない

⇒関係機関が連携し、情報収集

# ①計画の進捗管理について

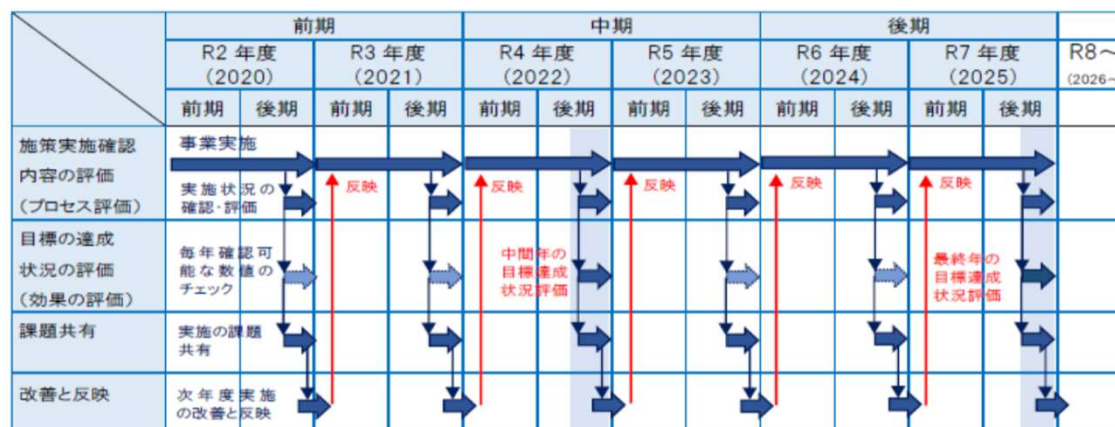
資料 4

- ・ 今回提示する計画については、2022(令和4)年度中に計画を策定し実行（計画期間：2022～2031年）
- ・ 協議会を年3回程度開催し、専門部会と連携しながら、以下の観点を踏まえ、成果指標等に基づく計画の評価・分析を行う
  - ✓計画期間全体の長期スパン及び年間単位の短期スパンによる進捗管理・事業評価
  - ✓行政の予算・補助申請スケジュールとの連携
  - ✓各施策の実施計画の策定、次年度事業への反映

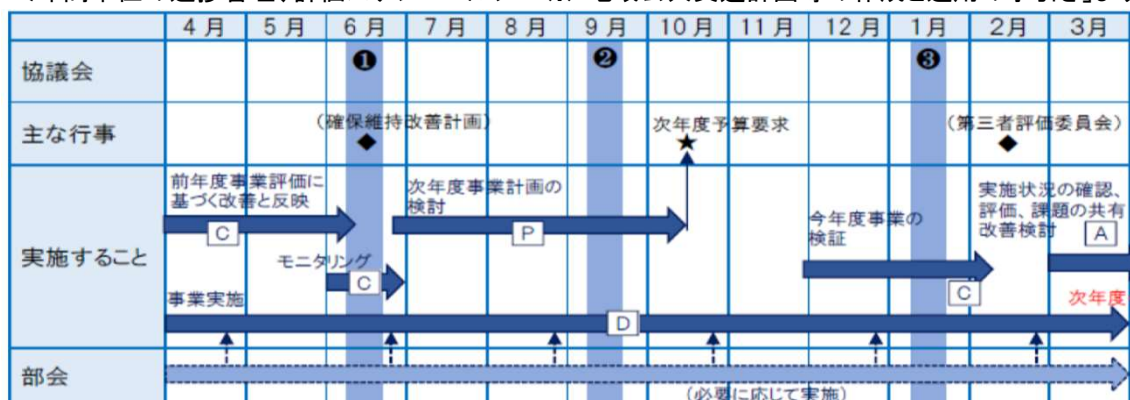
●R4年度の進め方(案)  
 第1回協議会：今回  
 第2回協議会(部会)：案の提示、作成  
 第3回協議会(部会)：年度の評価

⇒以下の静岡県沼津市の事例を参考とし、本市における進捗管理スケジュールを作成

＜長期スパンにおける進捗管理・評価スケジュール＞ ※「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」より



＜年間単位の進捗管理、評価スケジュール＞ ※「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」より



# ①計画の進捗管理について

資料 4

＜本市の長期スパンにおける進捗管理・評価スケジュール(たたき案)＞

中間評価・見直し

	前期					後期				
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
施策進捗確認	個別施策の事業進捗の確認・評価					評価方法の見直し 個別施策の事業進捗の確認・評価				
施策進捗の評価	進捗管理指標の更新・評価					管理指標の見直し 進捗管理指標の更新・評価				
目標の達成状況の評価			成果指標の更新・評価			成果指標の見直し		成果指標の更新・評価		
課題把握										
計画の改善・反映										

＜本市の年間単位の進捗管理・評価スケジュール(たたき案)＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通協議会				●				●				●
庁内連携							予算要求		議会報告	経営戦略会議		
進捗管理・評価	前年度事業評価・指標整理			次年度事業計画検討								
	意見・資料照会						資料照会	今年度事業の進捗確認・検証				
	事業実施											
都市交通戦略推進委員会									○			
専門部会												

## ②施策の検討・実施の進め方について

資料 4

- 協議会において、各施策の具体的な検討・実施ステップについて検討する
- 検討・実施ステップの具体化に向けた留意点としては、以下が考えられる
  - ✓計画に掲載した事業の実施ありきではなく、その実施の必要性や可能性を慎重に検討する
  - ✓事業の必要性を明確にするため、定量的な現況把握と課題整理を行う
  - ✓各施策間、施策における事業間の優先順位を検討する

⇒施策ごとに案を作成し、協議会において議論を行う

### ●R4年度の進め方(案)

第1回協議会: 今回

第2回協議会(部会): 施策ごとの案の提示、議論

第3回協議会(部会): 施策ごとのステップの作成

### ■施策①バス路線の再編検討のイメージ例

基本方針 1. 効率的・効果的な公共交通ネットワークの形成・強化

施策名	①バス路線の再編検討
対応する軸等	<p>市内拠点・鉄道駅へのアクセス幹線軸</p> <p>・幹線的な路線バスは、将来にわたり継続的に利用者を確保するため、まちづくりと連携したバス路線の再編を検討する。</p> <p>➢ 駅前整備と合わせた再編、都市計画道路の整備に合わせた再編、鉄道・軌道の導入に合わせた再編、公共施設・病院・学校・商業施設等の整備と合わせた再編等</p> <p>・また、中長期的に公共交通ネットワークの効率化を実現させる必要があるため、法改正に伴う新たな制度や、長大路線となっている幹線バスを交通結節点で支線と分岐させる等、バス路線の再編を図る。</p> <p>【実施予定の事業スケジュール】</p> <p>・地域公共交通計画の検証(～令和7(2025)年度)</p>
事業の概要	<p>再編のイメージ図</p> <p>出典：改正地域公共交通活性化再生法の制度と運用について（国土交通省神戸運輸管理部）</p>
主な事業エリア	市内全域
事業主体	交通事業者、行政
関連主体	

### ●検討ステップ

- 既存の交通ネットワークの整理
  - 路線バスやコミュニティバス等の運行状況を把握（運行頻度など）
  - 各交通手段の利用状況を把握（利用者数、出発地～目的地など）
- モード別の役割の整理（カバー圏域の検証）
  - 他都市の事例等を踏まえ、輸送人員や収益性等からカバー圏域を検証
- 公共交通以外の整理（分布、目的、有償無償、地域開放の有無）
- 不足するエリアの抽出
- 再編の可能性（出来ること、出来ない事の整理）
- 再編後の想定カバー状況の整理
- それでも不足する範囲のカバー方法
- 実施する内容の整理（地域別）

### ●検討する上での役割分担

交通事業者：運行情報、利用者数等の情報を提供  
 行政：案の作成、補助活用の検討  
 協議会：案に基づく議論、合意形成

### ●検討スケジュール

R4：情報の整理、検討ステップの作成、会計規則の作成  
 R5：委託業務発注（補助活用）、検討ステップ1～4を検討  
 R6：委託業務発注、検討ステップ5～8を検討、計画策定



### ③現況の把握について

### 資料 4

- 特に、具体的な検討・実施ステップが作成できていない施策については、施策の中に問題があるのか、事業実施の必要性があるのか整理する必要がある
- それを整理するためには、地域の現状や移動ニーズ等の需要と、それに対する公共交通サービスの現状等の供給との間の不足を把握することが重要である

⇒地域公共交通計画を作成した際の情報に加え、  
行政と事業者等と連携して情報を収集し、分析を行う

#### ●R4年度の進め方(案)

第1回協議会: 今回、情報収集依頼

第2回協議会(部会): 収集結果を共有、課題整理

第3回協議会(部会): 検討・実施ステップに反映

#### ■公共交通の現況の情報の例 ※「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」より

項目	内容	利用データ
利用状況	<p>【路線別の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス路線別あるいは鉄道駅別に、利用者数の現状や推移、利用者の内訳(通勤定期・通学定期、普通乗車等)について、表やグラフを使用して示します。</li> <li>バス路線については複数の系統が重複(ぶくそう)することもあり、それぞれの路線の利用状況については、地図上で色分けしたり、太さを変えたりして示すことが考えられます。</li> <li>バス系統の数が多い場合、それらを方面別にまとめて集計して表示するなど、分かりやすくするように工夫しましょう。</li> <li>利用者総数だけでなく、例えば、1運行当たりの利用者数を示すなど、多角的に分析できるように工夫しましょう。</li> <li>タクシー利用については、路線・方面別の集計が困難であり、地域全体の利用者数やその推移について資料作成します。</li> </ul> <p>【詳細な利用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに乗降場所別の乗降者数調査、OD調査等を実施していれば、区間別・時間帯別等の利用状況や、特定区間間の利用状況等、必要に応じて説明資料を作成しましょう。</li> <li>バス路線の系統別に、バス停別乗車・降車人数、バス停間車内人員(バス停別通過人員)を整理することも、区間別の利用実態を把握する上で有効です。</li> <li>事業者のICカードの利用データを用いて、利用状況について分析することも考えられます。</li> </ul> <p>※各種調査手法については、本章内で説明していますので、参照ください。</p>	事業者資料
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の利用環境について、以下のような状況について資料作成します。なお、既存の資料・データ等がない場合には、必要に応じて実態調査を行いましょう。</li> <li>駅等での乗換え・乗継ぎの状況</li> <li>駅・停留所、車両等でのバリアフリー化の状況</li> <li>駅・停留所等での情報提供(のりばや路線・ダイヤ化の案内等)の状況</li> <li>駅・停留所等での上屋等の整備状況</li> <li>HP等での情報提供の状況</li> </ul>	事業者資料 施設管理資料 現地実態調査
経営状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表できる範囲で、各事業者の運行(総走行キロ等)及び収支状況(できれば路線別の運行状況・収支状況)の資料を入手し、表やグラフで説明しましょう。</li> <li>必要に応じて、乗務員や車両等の充足状況も把握しましょう。</li> </ul>	事業者資料

#### ■交通事業者と連携したデータ分析のイメージ

※「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」より

